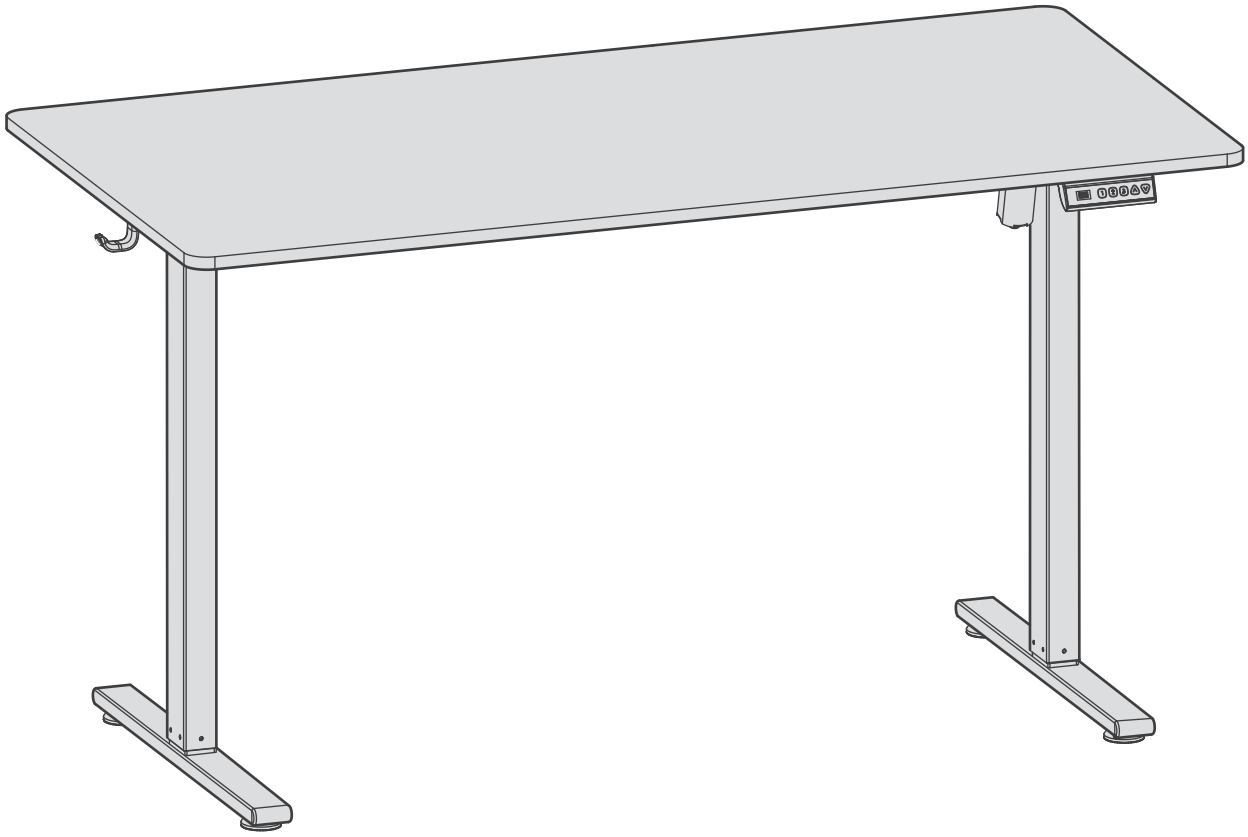
組み立て
説明書



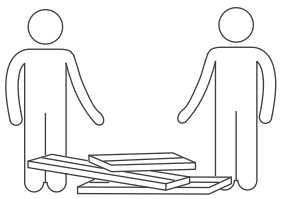
QR コードをスキャンして分割払いビデオを入手

support@yfs.life

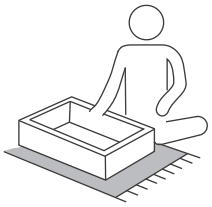
yfs.life/SDE0148-R2

注意

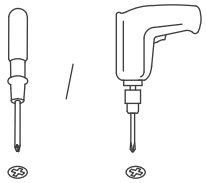
- 軽い洗剤を含ませた布で拭いて清掃してください。
- 使用中は子供や動物を机から遠ざけてください。机の天板が壁に触れないようにしてください。
- 机の下から高さ 51cm以上の障害物を取り除いてください。
- 使用環境の温度が 0°C～40°Cの範囲内でのみ操作してください。
- 製品を腐食性のガス、液体、またはほこりの多い物体から遠ざけてください。
- 操作中は手、足、その他の身体の部分を安全な位置に保ってくださ い。リセット時に衝突防止機能は自動的に有効になりません。
- 異常または意図しない操作による損害や人的被害に対して、当社は 一切の保証または責任を負いません。
- 初期設置または機器の電源リセット後に手動でリセットを行う必要 があります。



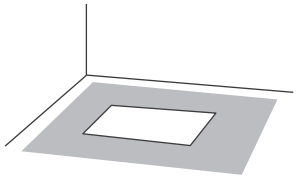
助けてくれる友人を呼んでください。



傷を防ぐため、フォームの上で
組み立てを行ってください。

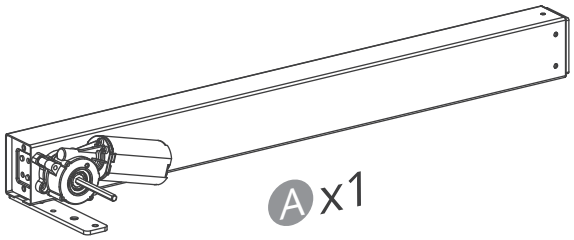


プラスドライバーまたはドリルが
必要です（付属していません）。

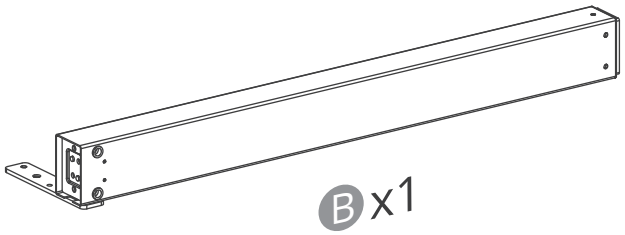


天板のサイズの2倍のスペースで
設置することを推奨します。

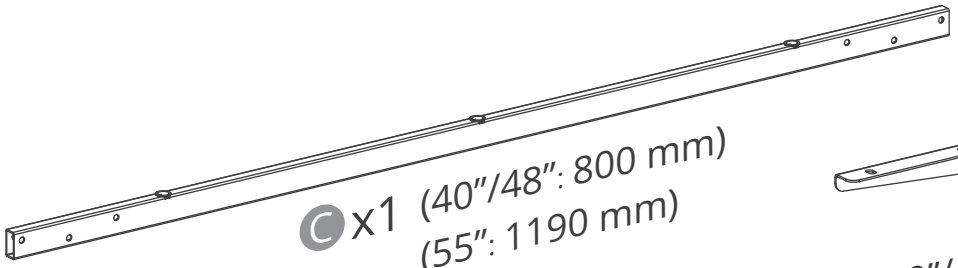
部品リスト



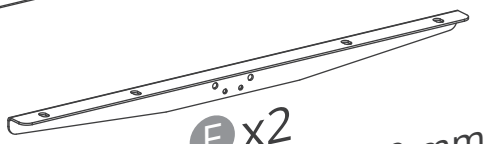
A x1



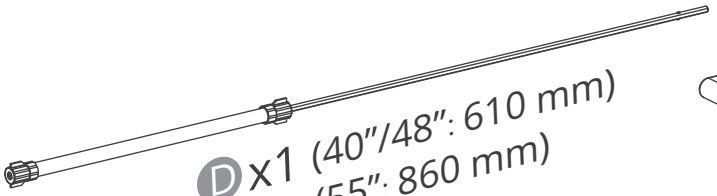
B x1



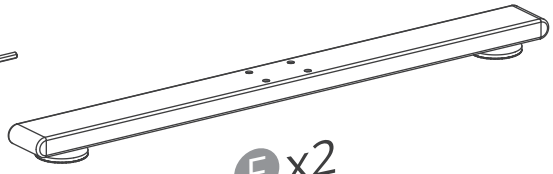
C x1 (40″/48″: 800 mm)
(55″: 1190 mm)



E x2
(40″/48″/55″x24″: 400 mm)
(55″x28″: 570mm)



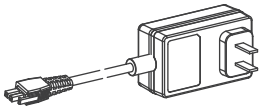
D x1 (40″/48″: 610 mm)
(55″: 860 mm)



F x2



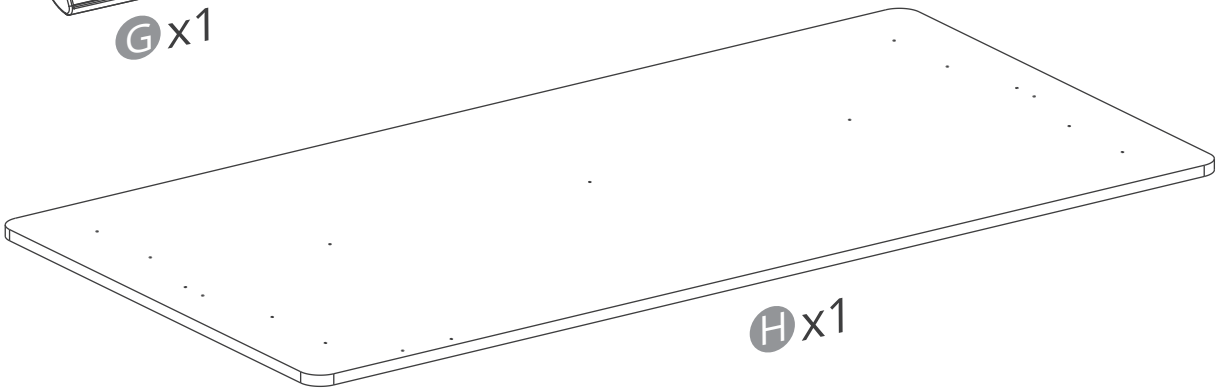
J x2



I x1



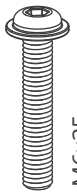
G x1



H x1



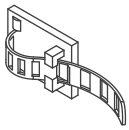
❶x10



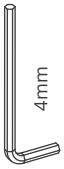
❷x8



❸x17

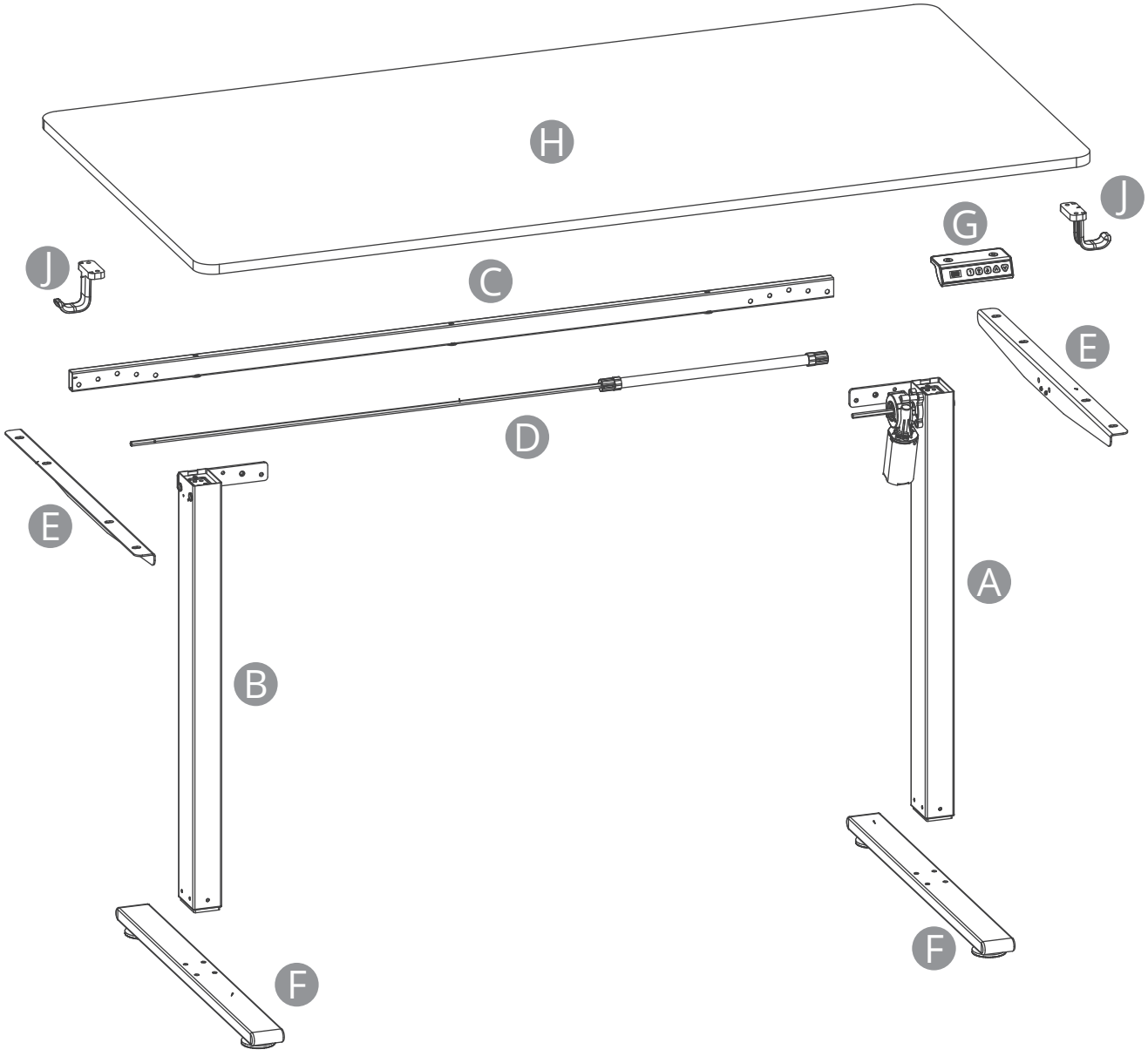


❹x2

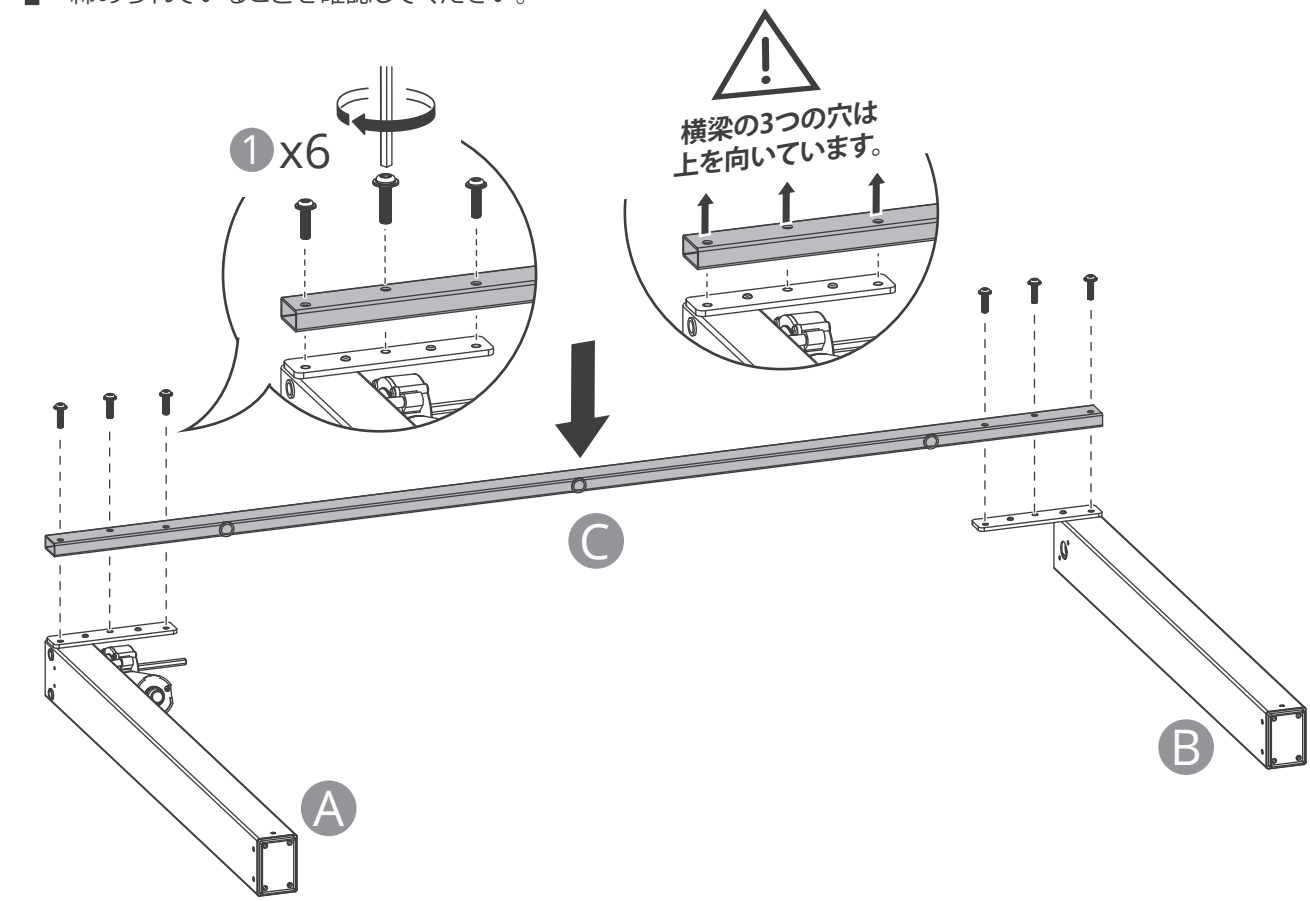


❺x1

分解図



1 ロックフレームのネジの推奨トルクは15N·mです。テーブルをより安定させるために、ネジがしっかりと締められていることを確認してください。

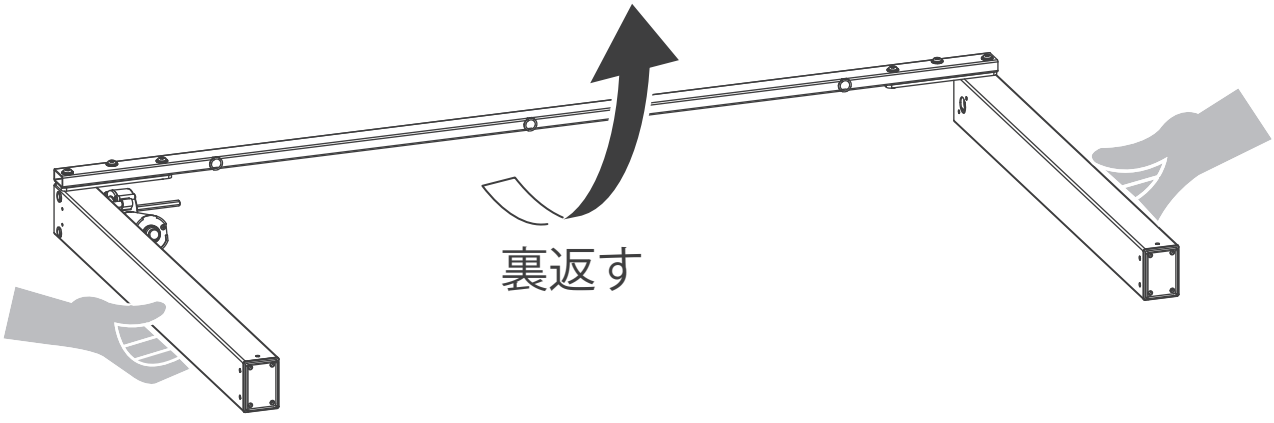


2

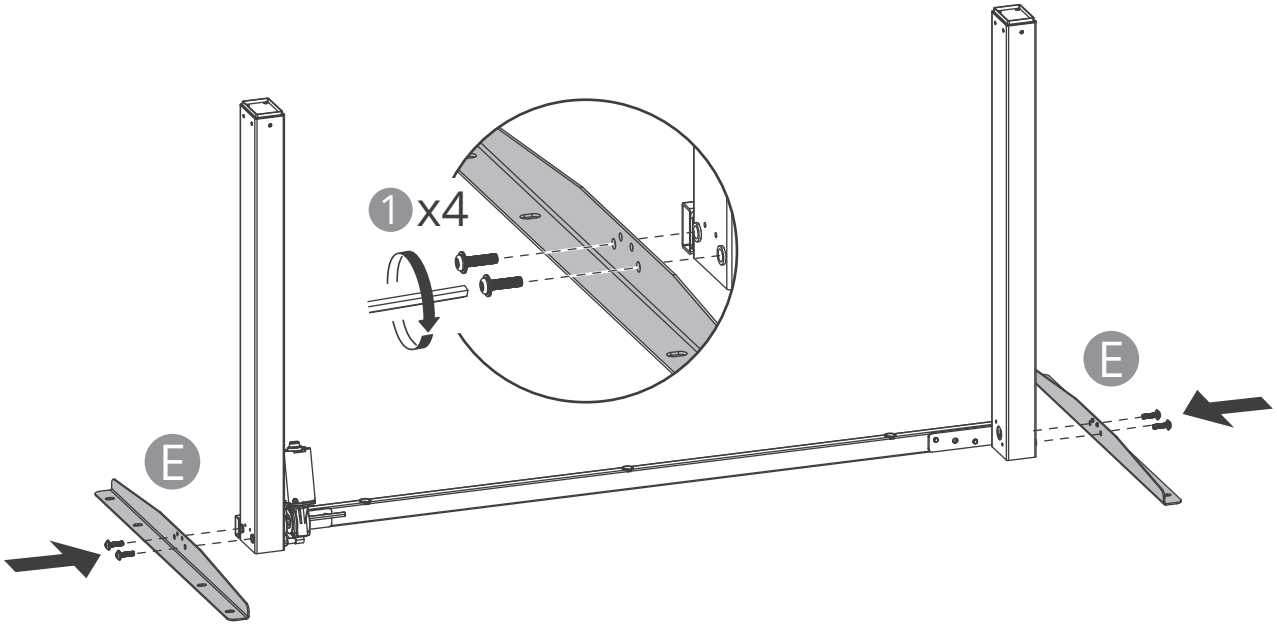




フレームの変形を防ぐため、必ず二人以上でデスクを裏返してください。

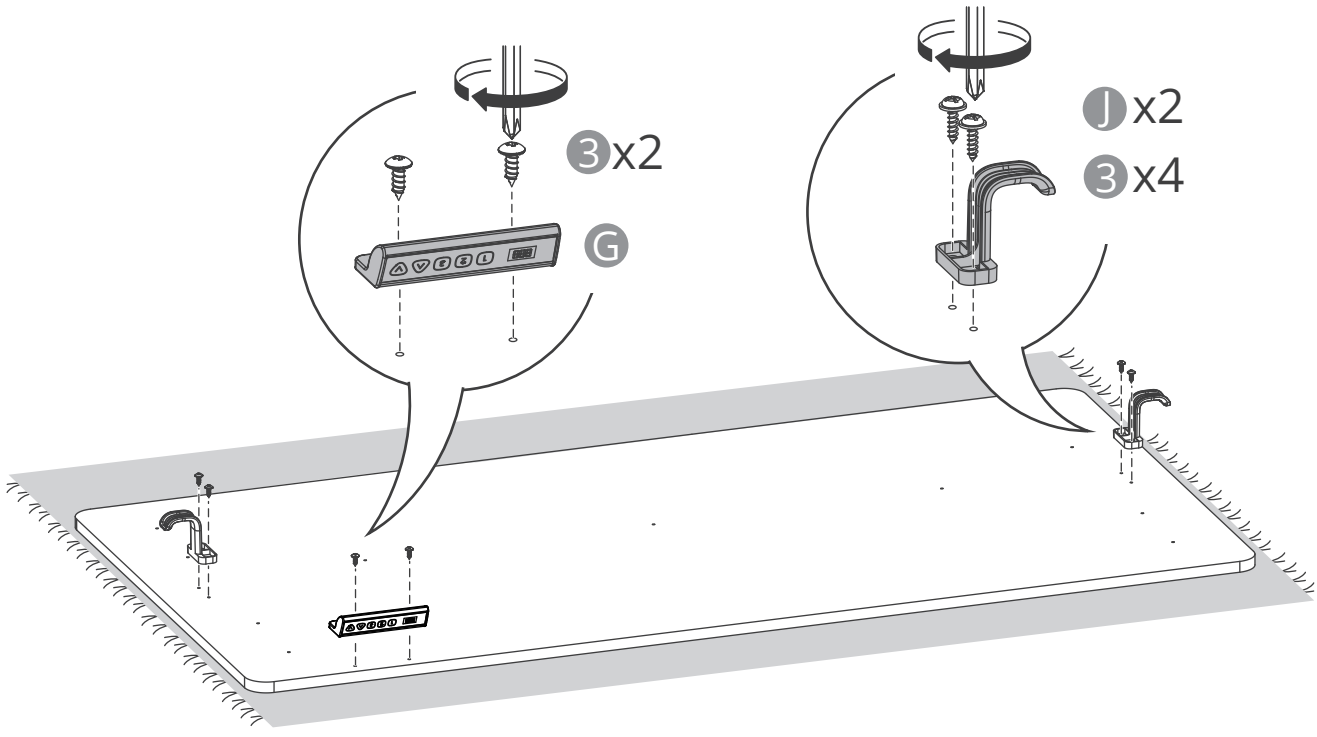


3

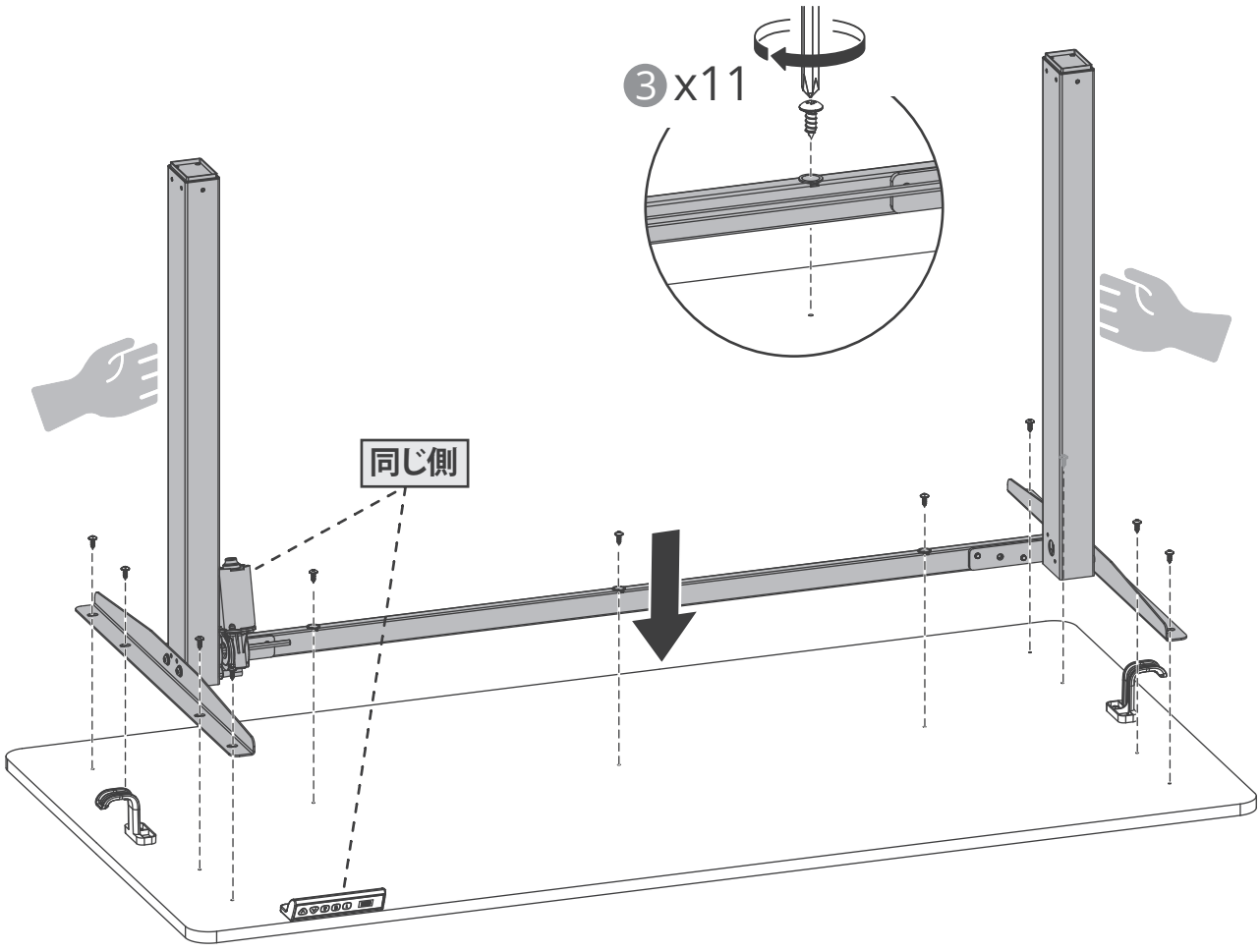


4

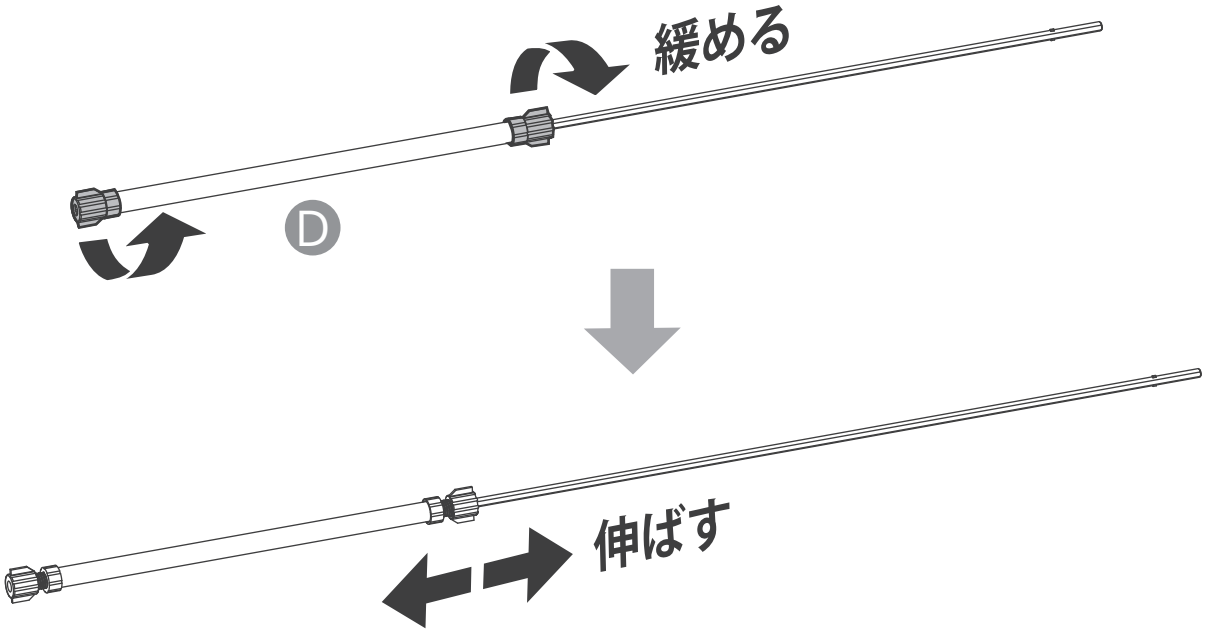
推奨トルク：6-10 N·m
重要：ネジは必ず天板に対して垂直 に締めてください。
注記：天板の傷防止のため、カーペットや布の上で作業してください。



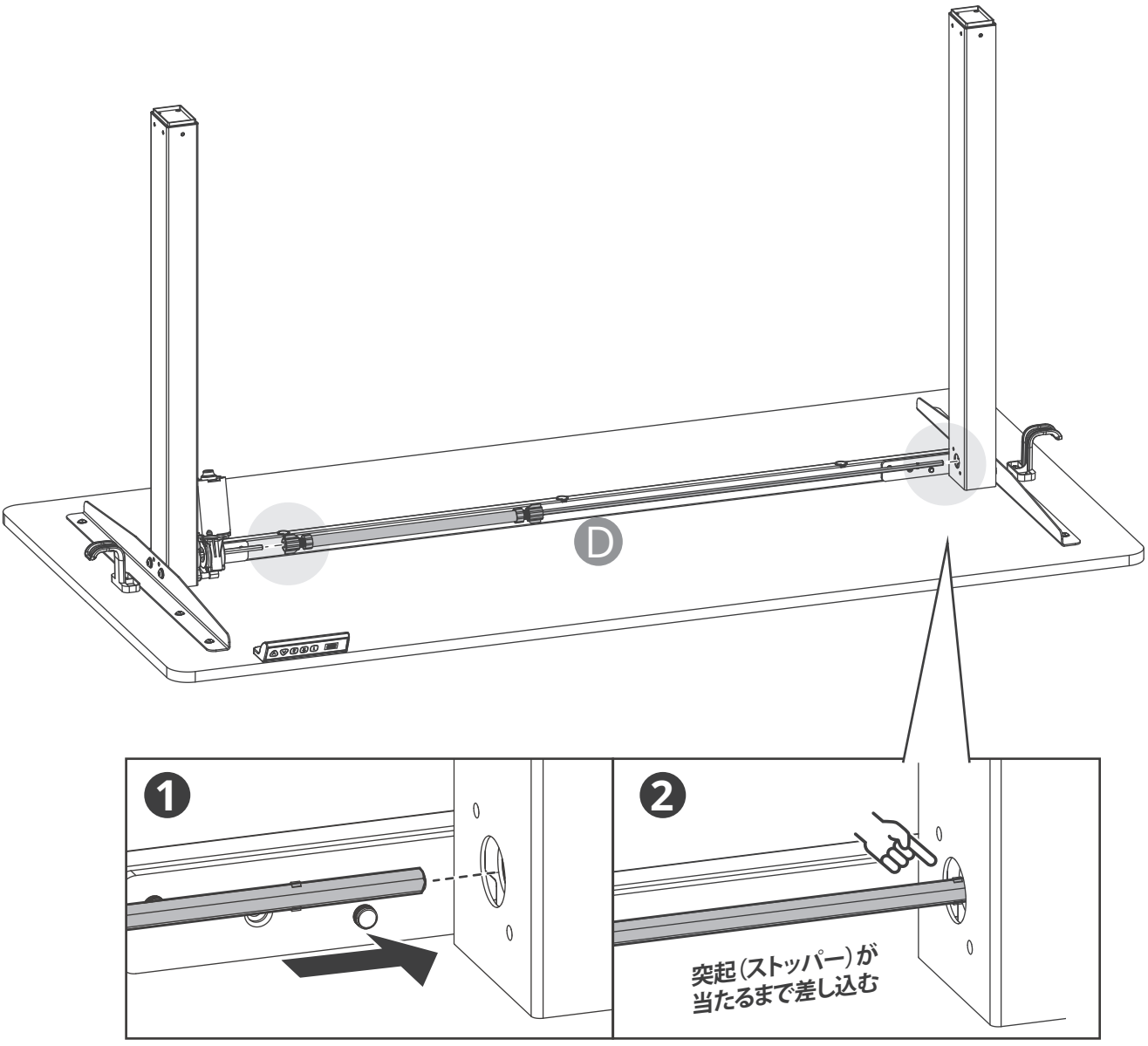
5 ネジを締める前に、全てのネジ穴の位置が合っていることを確認してください。
推奨トルク：6-10 N·m。重要： ネジは必ず天板に対して垂直に締めてください。



6

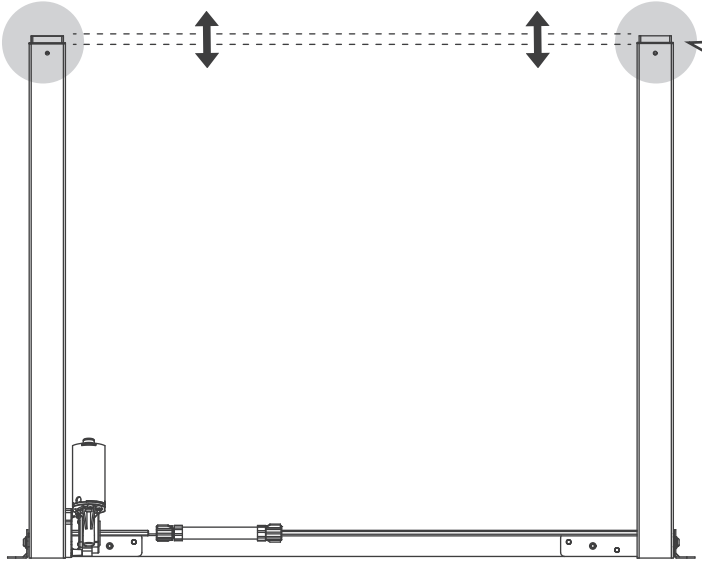


7

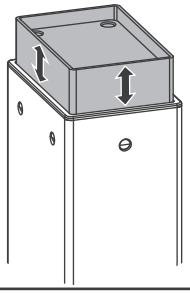


脚部の水平調整方法

❶ 左右の脚の高さが揃っているか確認します。

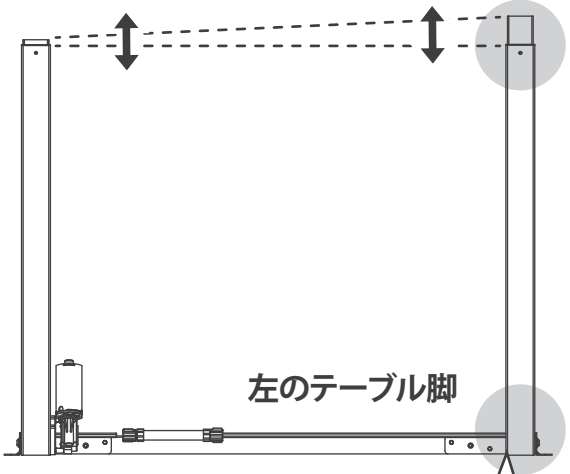


図のように上部の隙間が左右均等であれば、水平が保たれています。

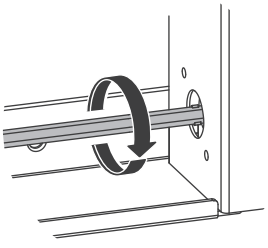


❷ 高さが異なる場合の調整方法。

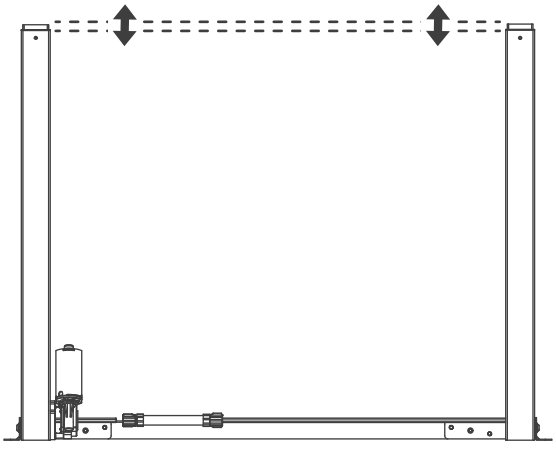
高さが違う



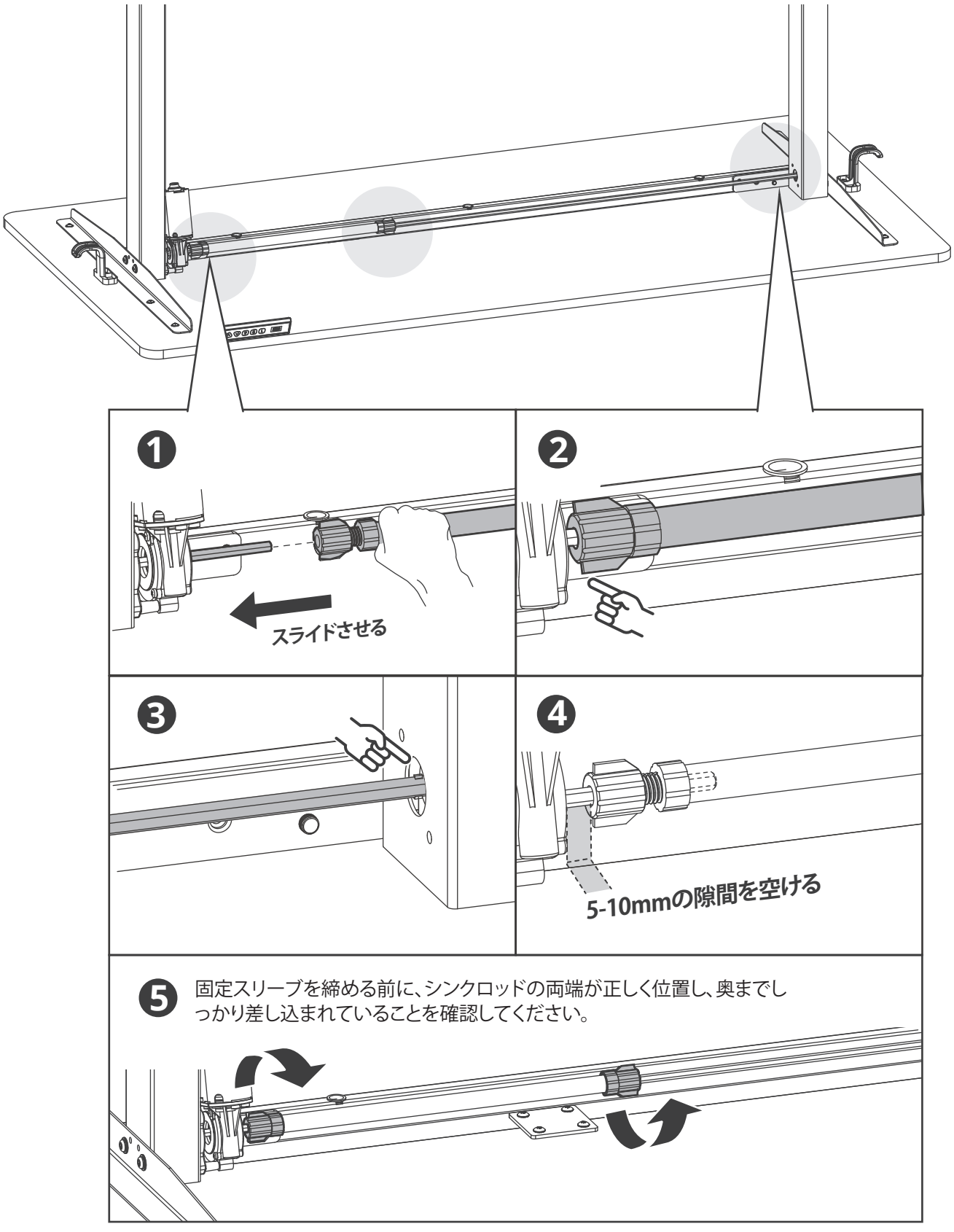
左右の高さが合っていない場合は、伝達ロッドを時計回りに回して高さを揃えてください。



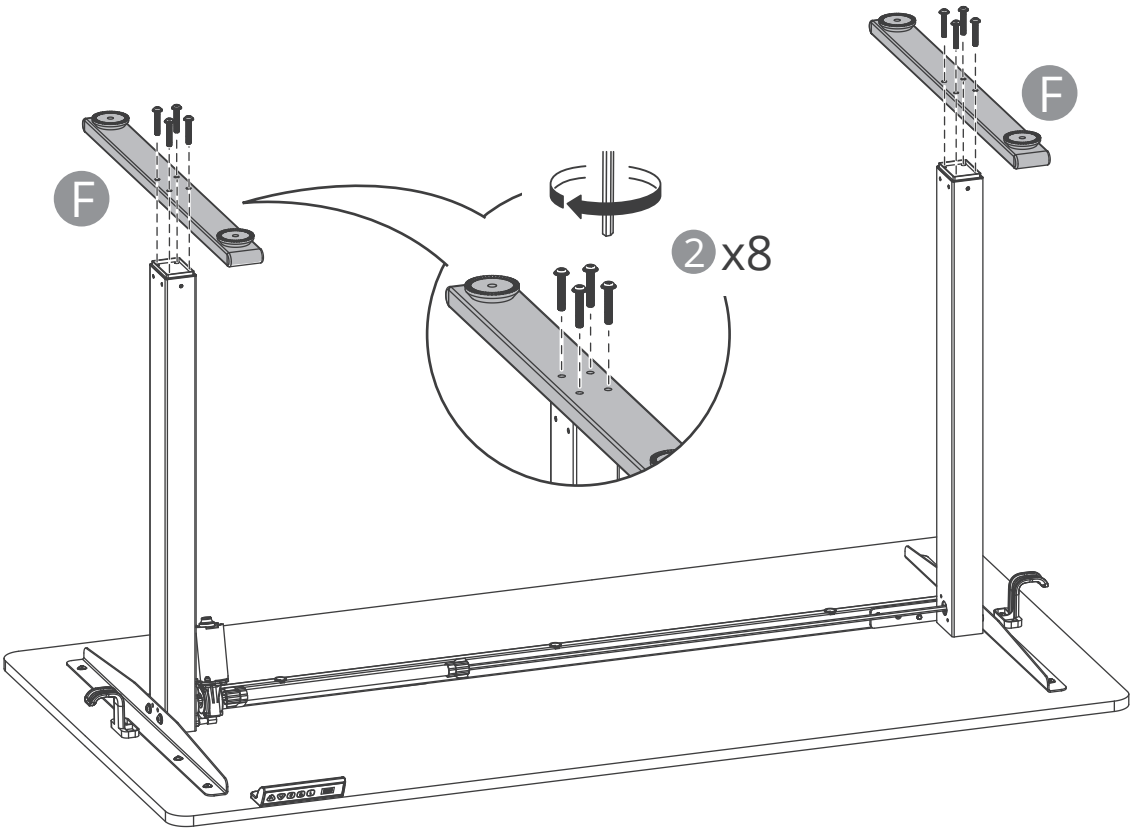
高さが同じ



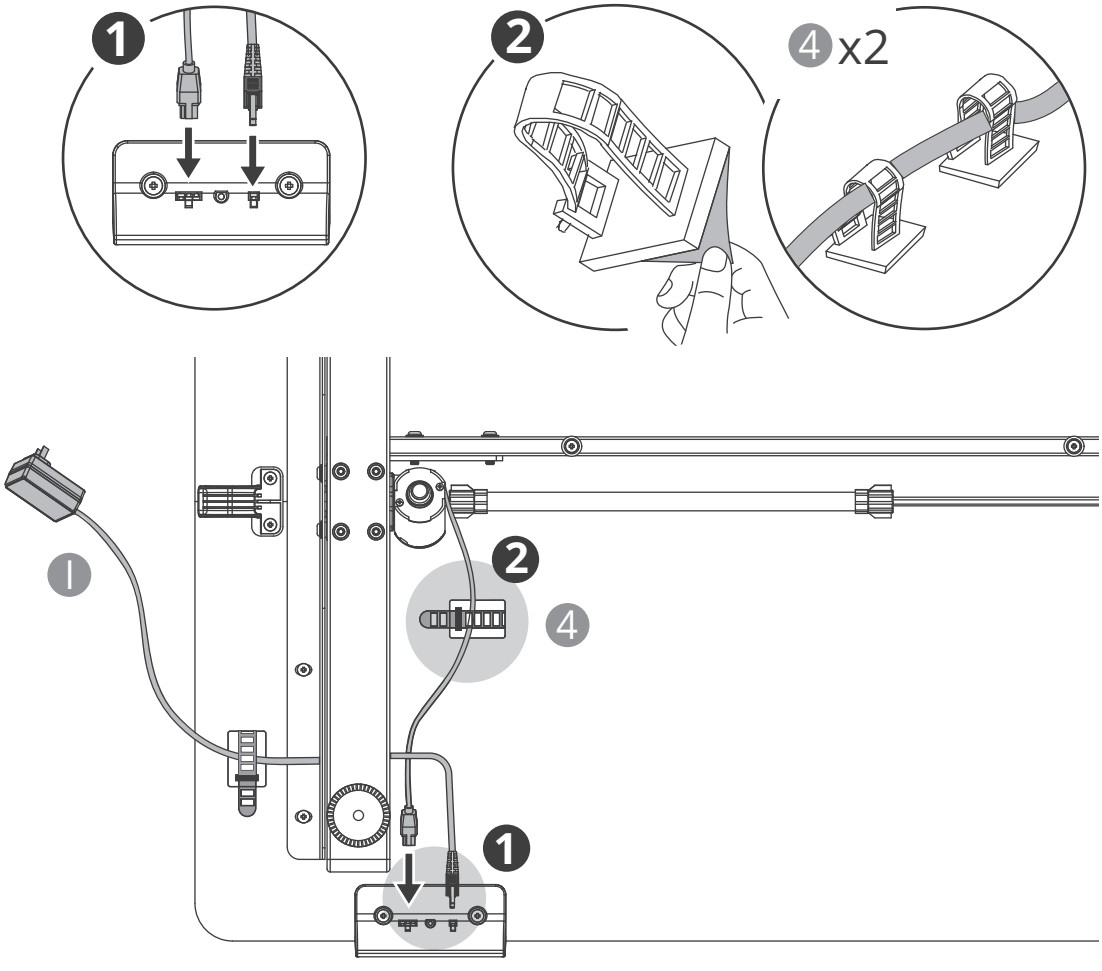
8


1
スライドさせる
2
3
4
5-10mmの隙間を空ける
5
固定スリーブを締める前に、シンクロッドの両端が正しく位置し、奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。

9

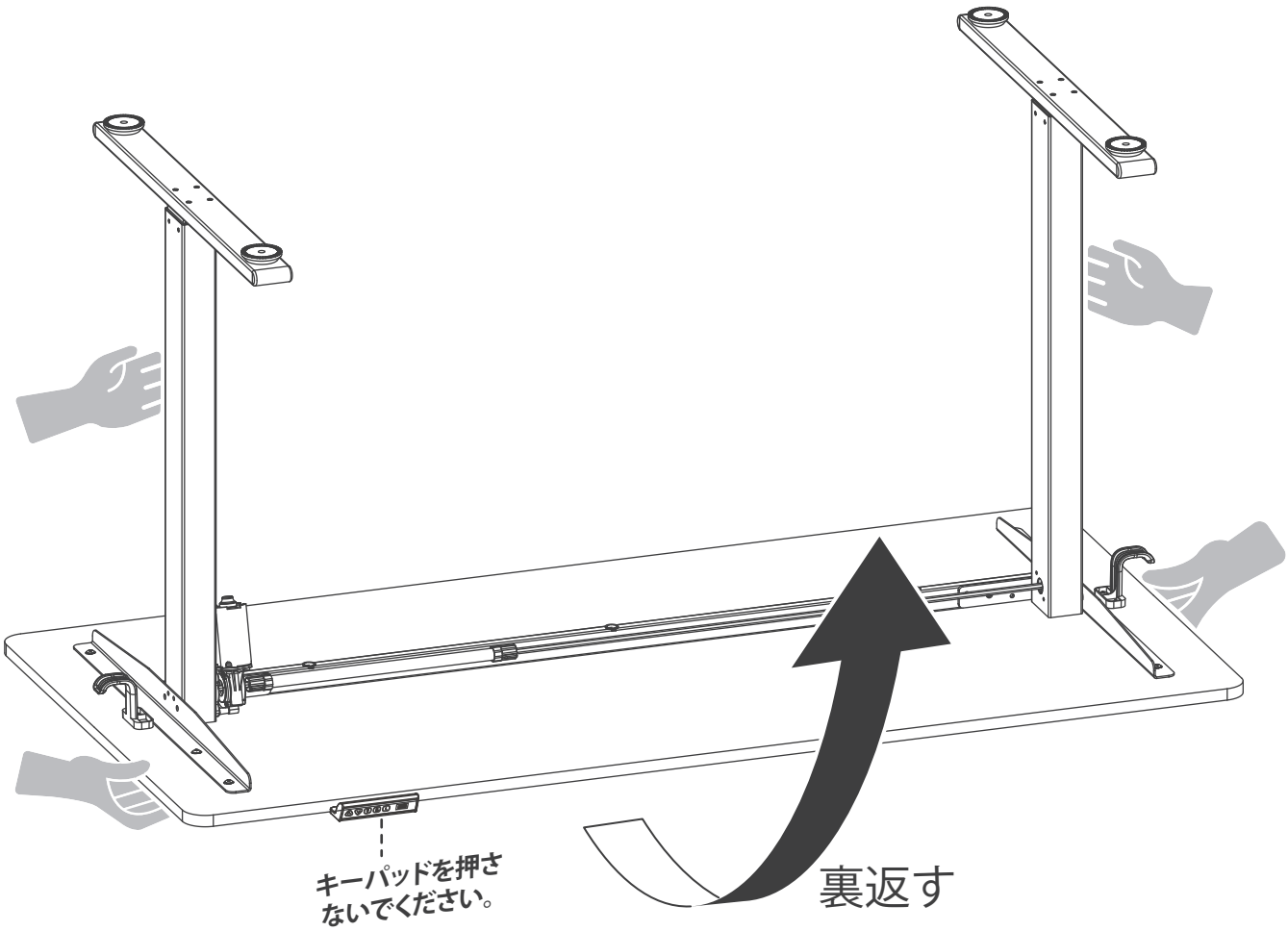


10

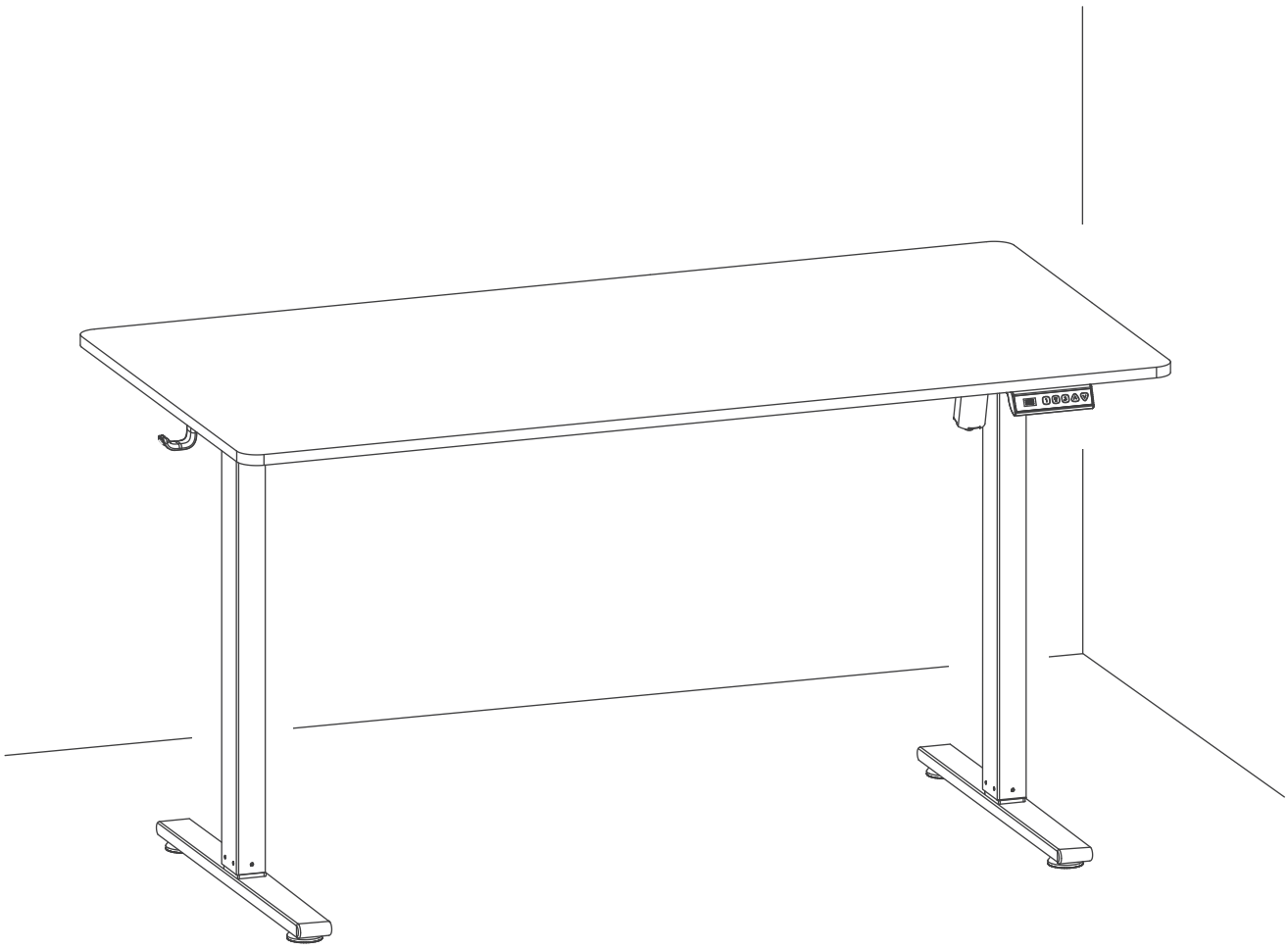


11

二人以上で作業



12



コントローラーの機能と操作



メモリー機能の設定と呼び出し

よく使うデスクの高さを保存し、ボタンひとつで呼び出すことかできる機能です。

高さの保存方法

1.デスクを希望の高さに調整します。
2. **1** ボタンを3秒間長押し します。表示部に S-1 と表示されると、現在の高さが **1** に保存されます。
3. **2** および **3** ボタンも同様の手順で、別の高さを保存できます。

保存した高さの呼び出し:

1 、**2** 、または **3** ボタンを 1回押します。デスクは自動的に保存された高さまで移動します。



衝突検知機能

昇降中に障害物を検知すると、デスクが停止して少し逆方向に動くことで、損傷や怪我のリスクを軽減する機能です。

感度の調整方法:

1.**1**と **2** ボタンを同時に2秒間長押しします。設定は Off (オフ)、L (低感度)、N (通常)、H (高感度) の順に切り替わります。
2. 設定は「Off」（オフ）、「L」（低感度）、「N」（通常）、「H」（高感度）の順に切り替わります。



チャイルドロック

誤操作を防ぐため、コントローラーのボタン操作をロックする機能です。

ロックの設定：

1 と **3** ボタンを同時に 5秒間長押し します。表示部に LOC と表示され、操作がロックされます。

ロックの解除：

再度、**1** と **3** ボタンを同時に 5秒間長押し します。現在の高さが表示され、通常通り操作できるようになります。



システムリセット

表示部にエラーコード(例: Er1 、E20)が表示された場合や、デスクが反応しない場合は、以下の手順でリセットを行ってください。

1.∨ボタンを3秒以上長押し します。
2.表示部に rST と表示されたら、ボタンから指を離します。
3.デスクは自動的に最も低い位置まで下がり、その後わずかに上昇して止まります。
4.最低の高さが表示されたら、リセットは完了です。

エラーコードとトラブルシューティング

ハンドセット "E02"	**衝突検知機能** 昇降中に「振動」、「障害物への衝突」、「デスクの傾き」のいずれかを検知しました。安全のため、デスクは自動的に停止し、少し逆方向に動いて止まります。 **対処方法** 1. エラーは自動的に消えます。また、戻り動作中にいずれかのボタンを押すと、すぐに停止してエラーを解除できます。再操作の前に、以下の確認を行ってください: デスクの周囲に障害物がないか確認し、取り除いてください。 デスクが水平な場所に設置されているか確認してください。 2. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。
ハンドセット "Hot"	**過熱保護** モーターが長時間連続して動作したため、過熱防止機能が作動しました。 **対処方法** 1. 直ちに使用を中止してください。少なくとも18分間そのまま放置し、モーターを十\分に冷ましてから操作を再開してください。 2. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。
ハンドセット "Er1"	**モーターエラー** モーターの接続異常を検知しました。 **対処方法** 1. 電源プラグをコンセントから抜きます。 2.すべてのモーターケーブルがコントロールボックスにし2かりと接続されているか確認します。 3. 電源プラグを再度コンセントに差し込みます。 4. リセット操作を行います (取扱説明書の「システムリセッ。 5. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。
ハンドセット "E20"	**過積載(オーバーロード) 保護** デスク上の重量が、最大耐荷重を超えています。 **対処方法** 1. デスク上の荷物を減らして、重量を軽くしてください。もし下降中にこのエラーが表示された場合は、荷物を減らした後、一度電源プラグを抜き、再度差し込んでください。 2. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。

ハンドセット "E31"	**低電圧保護** 入力電圧が低すぎます (電力不足)。 **対処方法** 1. 電源プラグをコンセントから抜きます。 2.電源ケーブルが、壁のコンセントおよびコントロールボックスの両方にしっかりと接続されているか確認します。 3. 安定した電源 (別のコンセントなど) に再度接続してください。 4. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。
ハンドセット "E32"	**過電圧保護** 入力電圧が高すぎます (過剰電圧)。 **対処方法** 1.電源プラグをコンセントから抜きます。 2. 使用している電源 (コンセント) の電圧が、デスクの電気仕様 (定格電圧) と適合しているか確認します。 3.適切な電圧の電源に再度接続してください。 4. 上記手順を実行しても問題が解決しない場合は、不具合の状況を動画で撮影し、アフターサポートsupport@yfs.lifeまでご連絡ください。